

ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」(募集型企画旅行契約)によります。
この旅行は2021年9月1日現在を基準としています。
■旅行契約の解除
参加者が最低実施人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の13日前迄にお知らせします。
<取消料>
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。
<解除時期・取消料>

契約の解除期日	取消料
旅行開始日前日から起算して遡って20日前以降	旅行費用の20%
旅行開始日前日から起算して遡って7日前以降	旅行費用の30%
旅行開始日前日	旅行費用の40%
旅行開始日当日	旅行費用の50%
旅行開始後の解除、無連絡不参加	旅行費用の100%

宿泊予定ホテル

石垣島
ルートイングランディア石垣
与那国島
民宿 さんぺい荘
または
エデンの幸旅物語
※与那国島の宿では朝食はパン・コーヒーなど軽食になる場合があります。

利用予定航空会社

ANA(全日本空輸)
JAL(日本航空)
JTA(日本トランスオーシャン航空)

利用予定バス会社

<石垣島>
(株)かびら観光交通
<与那国島>最西端観光

旅行企画・実施
観光庁長官登録旅行業84号
JATA正会員
株式会社 富士国際旅行社

TEL:045-212-2101 FAX:045-212-2201
henshu@fits-tyo.com 担当:西須・山田・金光・小山

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで
〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4
総合旅行業務取扱管理者:西須 輝理
営業時間:火～木曜日/AM10:00～PM4:00
(土曜・日曜・祝日は休ませていただきます。)
ホームページ: http://www.fits-tyo.com/

お申込方法

①同封の国内企画旅行取引条件説明書面をご確認の上、下記申込書 にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送・FAXでお送りください。(国内企画旅行取引条件説明書面の同封がない場合は、お申込書が届き次第、旅行社より郵送します。)
②申込金20,000円(旅行費用内金)または旅行費用全額を富士国際旅行社宛に下記郵便振替口座へご送金ください。(申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込)
郵便振替口座番号 00140-4-39332 加入者名 株式会社 富士国際旅行社
③当社より旅行費用残金請求書または受領書を送付いたします。
(旅行費用残金は出発3週間前迄にお支払いいただきます)
④約2週間～10日前に旅行資料をお送りします。

Peace Green Humanity
50th anniversary
おかげさまで50周年

株式会社 富士国際旅行社 宛 ●別紙、取引条件説明書面に記載の旅行条件および旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊機関等、その他への個人情報提供について、同意の上、当旅行に申し込みます。

参加申込書 伊藤千尋さんと行く! 石垣島・竹富島と与那国島をめぐる平和ツアー

ふりがな		性別	旅行出発時 年齢	ふりがな		性別	旅行出発時 年齢
氏名		男女	歳	同行 ご家族		男女	歳
生年月日	年 月 日 生	生年月日	年 月 日 生	出発空港	希望空港に○をお付け下さい↓ 羽田・伊丹・関西・中部・福岡・その他(※行程表に記載の時刻・ツアー代金は、羽田発着の場合です。羽田以外をご希望の方は、別途、航空便時刻・御料金をご案内いたします。)		
住所	(〒 ー)			参加人数 及び お部屋割り について	☐ 1人参加※一人部屋利用/別途追加料金がかかります。 ☐ 2名～3名参加:()様と同室を希望 ☐ 2名～3名部屋:どなたでも良い(男女別)		
電話 FAX 携帯番号 メール	() ー ー () ー ー () ー ー @			前泊	各空港周辺の前泊ホテル手配を承っております。 ☐ 前泊を希望する (空港周辺) ※料金別途ご案内		
旅行中 緊急 連絡先	【連絡先名】 (続柄:) 【住所】 【電話番号】			旅行社への 連絡事項	アレルギーがある方、健康状態など旅行社へ連絡事項がある場合、記入下さい。		
アンケート	今回の企画をどこまでお知りになりましたか? ○お付け下さい。 弊社HP・いい旅いい仲間・知り合い、家族のご紹介・その他 ()						

伊藤千尋さんと行く!

めぐる平和ツアー

与那国島を

石垣島・竹富島と



伊藤千尋さんプロフィール

伊藤千尋(いとう・ちひろ)
ジャーナリスト。1949年山口県生まれ。大学時代の71年にキューバで砂糖キビ刈り国際ボランティアに参加。73年、東大「ジプシー」調査探検隊長として東欧を旅する。74年朝日新聞社に入社。外報部などを経て、サンパウロ支局長、パルセロナ支局長を歴任。2001年にはロサンゼルス支局長として9・11後のアメリカ社会を精力的に取材。これまで世界68カ国を現地取材し、そこに生きる人びとの姿を伝えてきた。週刊「うたごえ新聞」や映画月刊誌に連載し音楽、映画にも造詣が深い。2014年9月よりフリーのジャーナリストとして活動している。



旅行期間

2021年
12月25日(土)～12月28日(火)

旅行代金

¥165,000(羽田発)

※羽田空港以外の発着・現地参加希望の方は
お問合せ下さい。

申込締切

2021年
12月3日(金)

実施人数

25名(最少催行人数 15名)

添乗員

羽田空港より同行

企画・実施

 株式会社 富士国際旅行社

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4
TEL:045-212-2101 FAX:045-212-2201

日程表 伊藤千尋さんと行く! 石垣島・竹富島と与那国島をめぐる平和ツアー

日次	都 市	交通機関	時 刻	行程・食事（朝・昼・夕）
12/25 （土）	東京・羽田空港発 沖縄・那覇空港着 沖縄・那覇空港発 沖縄・石垣空港着	航空機 航空機 貸切バス	午後	羽田空港7:30～8:30頃集合予定 空路、那覇空港へ 那覇空港で乗換 石垣島見学 ●八重山平和祈念館 ●戦争マラリア犠牲者慰霊碑 ●九条の碑 ●暁の塔 ●パンナ岳展望台
	石垣島内ホテル		夕刻	*参加者夕食交流会～潮平正道さんを偲んで～ 朝X 昼X 夕○
12/26 （日）	石垣空港発 与那国空港着	航空機 貸切バス	午前 午後	与那国島見学 ●ティンダバナ ●浦野墓地群 ●軍神大枡大尉の墓 ●平和の塔 ●東崎展望台 ●Dr.コトー診療所 □ケ地（外観） ●日本最西端の碑
	与那国島内ホテル		夕刻	▲花酒は日本最西端・与那国島だけで製造されているアルコール度数60度の蒸留酒です。花酒は泡盛とまったく同じ原材料と製造法です。与那国島には泡盛・花酒の酒造所が3つあります。 朝○ 昼○ 夕○
12/27 （月）	与那国空港発 石垣空港着	航空機	午前	竹富島見学 ～船で約15分で竹富島へ～ ●カイジ浜 ●水牛車で集落見学 など
	石垣港 竹富港 竹富港 石垣港 石垣島内ホテル	船 船 貸切バス 船 船	午後 夕刻	*夕方：石垣島内にて、伊藤千尋さん講演会 朝○ 昼○ 夕×
12/28 （火）	沖縄・石垣空港発 沖縄・那覇空港着 沖縄・那覇空港発 東京・羽田空港着	貸切バス 航空機 航空機	午前 午後 夕方	石垣島見学 ●川平湾 ●宮良殿内（重要文化財） ●登野城小学校（奉安殿） ●ミンサー工芸館 空路、那覇空港へ 空路、東京・羽田へ 羽田空港19:30～20:30頃到着予定 朝○ 昼○ 夕×



▲憲法九条の碑
（石垣市）

九条の碑

沖縄県内では、那覇市・読谷村・石垣市・西原町・南風原町・宮古島市・大宜味村に「憲法九条の碑」が建立されています。
石垣市の九条の碑は、「憲法九条の碑」設置石垣市民の会によって2004年11月3日に建立。八重山の戦争を語り継いだ故・潮平正道さんによってデザインされました。

日本軍と戦争マラリア

1945年4月頃から八重山諸島の住民が日本軍の疎開命令によって安全な水や食料の入手が望めないマラリア発生地域に追いやられ、住民や駐留軍人らが大量に罹患し死亡しました。原住地に戻った後も日本軍が生活手段である家畜や穀物を破壊・消費していた事と12月まで医薬品の供給が途絶えていた事で6月の沖縄停戦・8月の日本降伏後も被害は続き、犠牲者は3647人に上ります。



▲宮良作著、宮良瑛子絵
『忘れな石』

旅のポイント・見学先

● 石垣島

～美しい珊瑚を取り囲む八重山諸島の中心地～

沖縄本島から南西に410km。石垣島は西表島・竹富島などからなる八重山諸島の中心地です。飲食店や商店で賑わう市街地と、風光明媚な郊外との2つの顔があります。美しいビーチや珊瑚の海が広がり、夜空や夕焼けも楽しめます。



● 与那国島

～晴れた日は台湾が見える日本の最西端の島～

与那国島は日本の正式な東西南北の端で、唯一自由に一般人が行く事が出来る場所です。島の西側の先端、西崎（いりざき）には日本最西端の碑が建っています。



● 竹富島

～美しい赤瓦の街並み～

石垣島から高速船で15分の場所に位置する竹富島。沖縄県で生産される赤瓦と白い砂道がその美しい景観を生み出しています。



● 八重山平和祈念館（石垣島）

～八重山の戦争被害に関する資料館～



沖縄本島にある平和祈念資料館の分館として、1999年に設立された八重山平和祈念館。石垣島や波照間島に暮らす人々はアジア太平洋戦争中、強制的に西表島などに移住させられました。そして、その場所がマラリア有病地帯だったため、多くの人々がマラリアの犠牲者となりました。八重山平和祈念館は、こうした戦争マラリアの実相を資料や写真、ビデオなどで知ることができ、平和の大切さを学べる施設です。

● 浦野墓地群（与那国島）

～創られた「軍神」大枡（おおます）松市大尉～

大枡松市氏は1917年に与那国島に生まれ、1943年ガダルカナル島で戦死しました。沖縄県で初となる軍人感状



を受けたことから「大尉に続け」と県内の戦争動員策に利用され、「軍神」と称え祀り上げられました。彼の墓は伝統的な亀甲墓では無く日本式です。

● 水牛車（竹富島）

～水牛車で集落を巡る～

水牛に揺られながらのんびり集落を巡ります。水牛車では三線で民謡の生演奏があります。島唄を聴きながら、ゆったりと流れる島時間をお楽しみください。



● 与那国島に配備された自衛隊レーダー基地

2016年3月28日、与那国島に陸上自衛隊が配備され約150人が駐留、沿岸監視隊が任務を開始しました。与那国島への自衛隊配備をめぐっては、2015年住民投票が行われましたが183人の票差で誘致がきまりました。
人口の15%を自衛隊が占めることとなり、与那国島の自治への影響や、レーダー基地があることによってもたらされる危険性についても反対の声が上がっています。岸防衛大臣は2023年までに新たに電子線部隊の配備を検討していると明らかにしました。自衛隊配備について、地元の方にお話をお聞きます。

故・潮平正道さんに思いを寄せて

八重山を題材とした創作活動を続け、八重山戦争マラリアを語り継ぐ会でも尽力し、八重山の戦争の実態を伝える活動を続けてきた潮平正道（しおひら・まさみち）さんが、2021年4月に逝去されました。
昨年には潮平さんの絵と文を収録した作品集「絵が語る八重山の戦争」（南山舎）が発行されました。潮平さんが語り継いだ記憶と平和への願いに思いを寄せ、「絵が語る八重山の戦争」を囲み参加者交流会を行います。

▼潮平正道著「絵が語る八重山の戦争」より

